

県民の森

この県民の森は、福島県が明治元年から百年目のきねんのしごととして、植



(県民の森第一広場)

林をしたり、しぜんの木を守ったりして、福島県の人びとが、しぜんにしたしみ、家ぞくといっしょに楽しい一日を過ごすことや、集団で利用できるようにするためにつくられたものです。

この県民の森には、運動ができる広場が二つ、テントサイドが二十五、その他キャンプファイヤー場もあり、また遊歩道などもあって、しぜんにしたしみながら、からだをきたえるしせつなどもつくられています。

それに、森林館や学習館、鳥じゅうほごセンターなどのしせつもあって、しぜんにしたしむような、しせつがたくさんあります。

この県民の森は、一九六八年（昭和四十三年度）から、五年間の計画で、三億七千四十一万円のひ用でつくられました。ここからのながめはすばらしく、郡山盆地や、阿武隈高